



くらしの「あたらしい幸せ」を發明する。
J. FRONT RETAILING



J. FRONT RETAILING

将来の見通しに関する注意事項

本株主通信における記述は2022年10月11日現在入手可能な情報に基づき作成しております。
従いまして、将来に関する記述は、様々な要因により変更される場合があります。

株主 通信

2022年度 第16期中間期
(2022年3月～2022年8月)

J.フロントリテイリング株式会社
証券コード: 3086

GEAR CHANGE

守りから、攻めへ。



トップメッセージ

未来を見据えた変革に、 ギアを上げます。

取締役 兼 代表執行役社長
好本 達也

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、コロナ危機からの完全復活と再成長を目指す中期経営計画を2021年度からスタートさせました。初年度は想定以上にコロナ影響が長期化したことにより、投資の抑制や経営構造改革の加速など、「攻め」よりも「守り」を重視した取り組みを進めました。

2年目となる2022年度も、感染第7波、感染者数の高止まりなど、予断を許さない状況が続いています。我々に求められるのは、アフター・コロナをただ待つのではなく、ウィズ・コロナを前提とした変革への覚悟です。一方、急激な為替変動や世界的なインフレ急進による景気減退への懸念など先行き不透明な要素が加わり、経営環境は決して楽観できる状況ではありません。

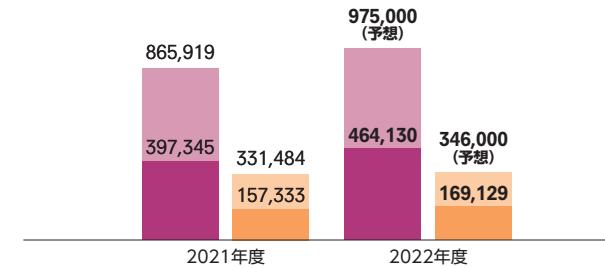
我々が完全復活を果たし、さらに再成長につなげるためには、攻めに転じる決断、そのタイミングをはかることが極めて重要であると考えます。非連続かつ飛躍的な成長の実現には、明確な戦略に基づく相応の準備が不可欠で、そうした見極めを適時、適切に進めていかなければなりません。

これらを踏まえた今年度の位置づけは“ギア・チェンジ”であると考えています。守り重視から、トップラインの成長を目指した攻めへとマインドセットを変え、具体的なアクションと成果につなげることにより、持続的な成長を可能にする強固な経営基盤を構築していきます。

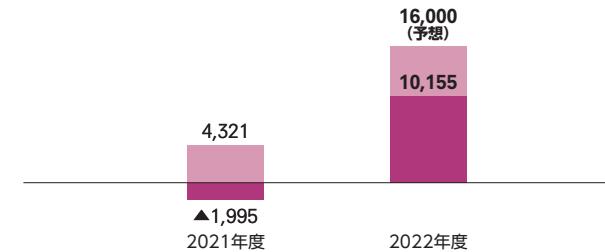
株主の皆様には一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年2月期 第2四半期 連結決算ハイライト

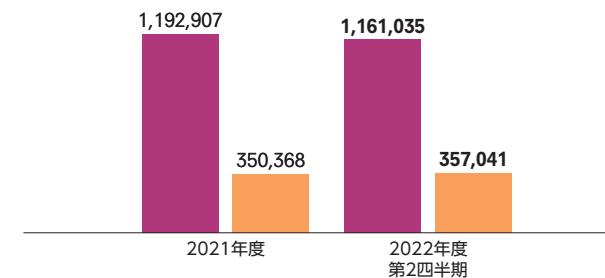
総売上高 (単位: 百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期
売上収益 (単位: 百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



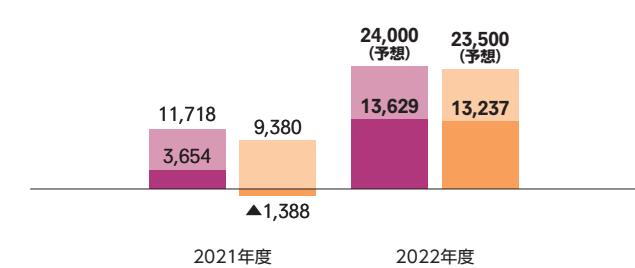
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (単位: 百万円)
■ 第2四半期 ■ 通期



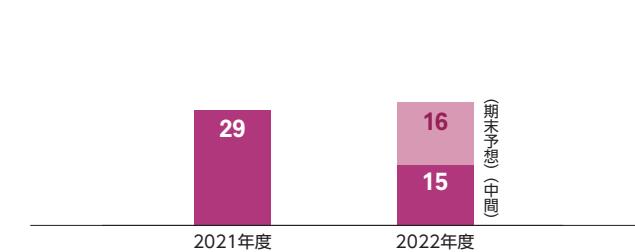
資産合計 / 親会社の所有者に帰属する持分 (単位: 百万円)
■ 資産合計 ■ 親会社の所有者に帰属する持分



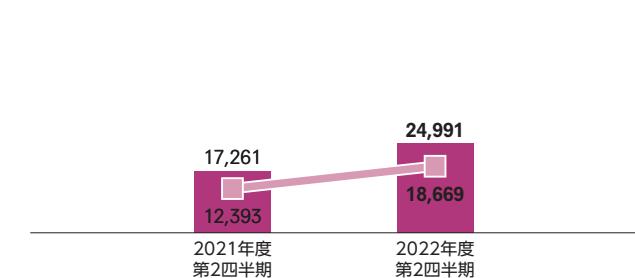
事業利益 (単位: 百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期
営業利益 (単位: 百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



1株当たり配当金 (単位: 円)
■ 1株当たり配当金



キャッシュ・フロー (単位: 百万円)
■ 営業キャッシュ・フロー ■ フリーキャッシュ・フロー

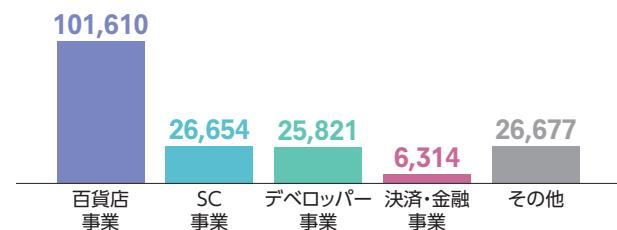


※当社グループは、2018年2月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠し開示しています。
※総売上高は、IFRS売上収益のうち「百貨店事業」の消化仕入取引を総額に、「SC事業(ハルコSC)」の純額取引をテナント取扱高(総額ベース)に置き換えて算出しています。
※事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

セグメント別概況

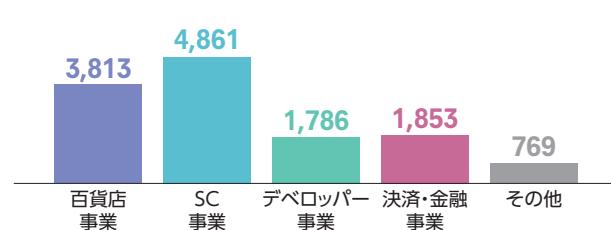
売上収益

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



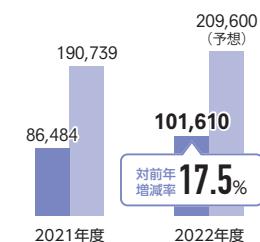
※ セグメント別売上収益・営業利益ともにセグメント間の内部取引を含んでいます。



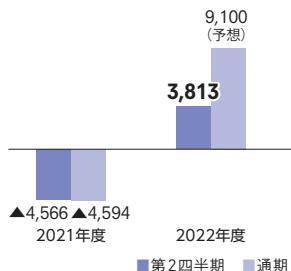
百貨店事業

- ▶ 売上収益は、前年の店舗休業影響の反動、高額品消費の好調、改装効果により前年同期比で増収。
- ▶ 営業利益は、売上収益の改善や経費節減などにより、前年同期比で増益。

売上収益 (単位:百万円)



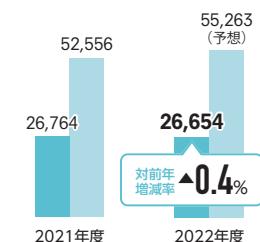
営業利益 (単位:百万円)



SC事業

- ▶ 売上収益は、パルコ店舗の売上は増加したものの、前年に子会社を連結除外した影響により前年同期比で減収。
- ▶ 営業利益は、エンタテインメント事業関連の助成金受入れなどにより前年同期比で増益。

売上収益 (単位:百万円)



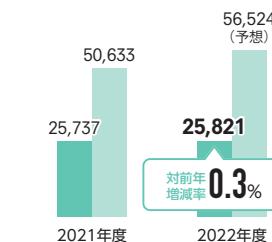
営業利益 (単位:百万円)



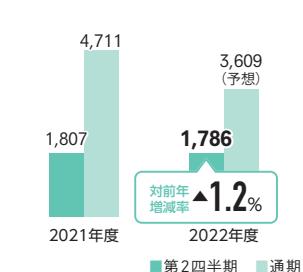
デベロッパー事業

- ▶ 売上収益は、パルコスペースシステムズでの工事受注増などにより、前年同期比で増収。
- ▶ 営業利益は、道頓堀ゼロゲートの閉店や一部賃貸条件変更などにより、前年同期比で減益。

売上収益 (単位:百万円)



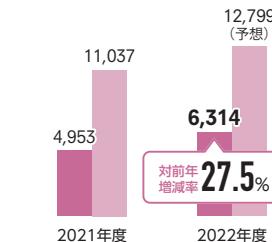
営業利益 (単位:百万円)



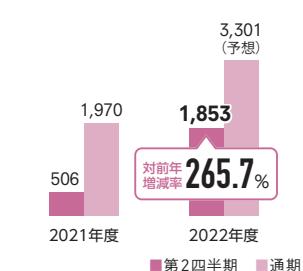
決済・金融事業

- ▶ 売上収益は、年会費収入の伸長や加盟店取扱高の増加による手数料収入の増加などが寄与し、前年同期比で増収。
- ▶ 営業利益は、収益の増加にともない、前年同期比で増益。

売上収益 (単位:百万円)



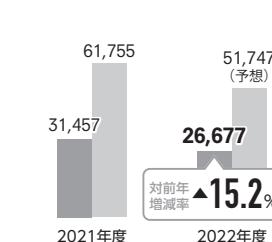
営業利益 (単位:百万円)



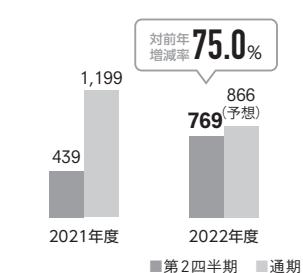
その他

- ▶ 売上収益は、子会社のディンプルを連結除外した影響などにより前年同期比で減収。
- ▶ 営業利益は、上記連結除外による販管費の圧縮効果や、卸売業の大丸興業における収益改善などにより前年同期比で増益。

売上収益 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



重点戦略の進捗

今中期経営計画では3つの重点戦略を定め、2022年度は「攻め」の姿勢で成果創出をはかっています。その事例について、グループシナジー発揮が期待される名古屋・栄エリアでの取り組みを特集するとともに、その他のトピックスをご紹介します。

リアル×デジタル戦略
店舗や人が持つ魅力にデジタル技術を掛け合わせ、新たな体験価値を提供

プライムライフ戦略
こころ豊かでサステナブルなライフスタイルを楽しむ生活者への提案強化

デベロッパー戦略
街の賑わい創出への貢献、保有不動産の価値向上



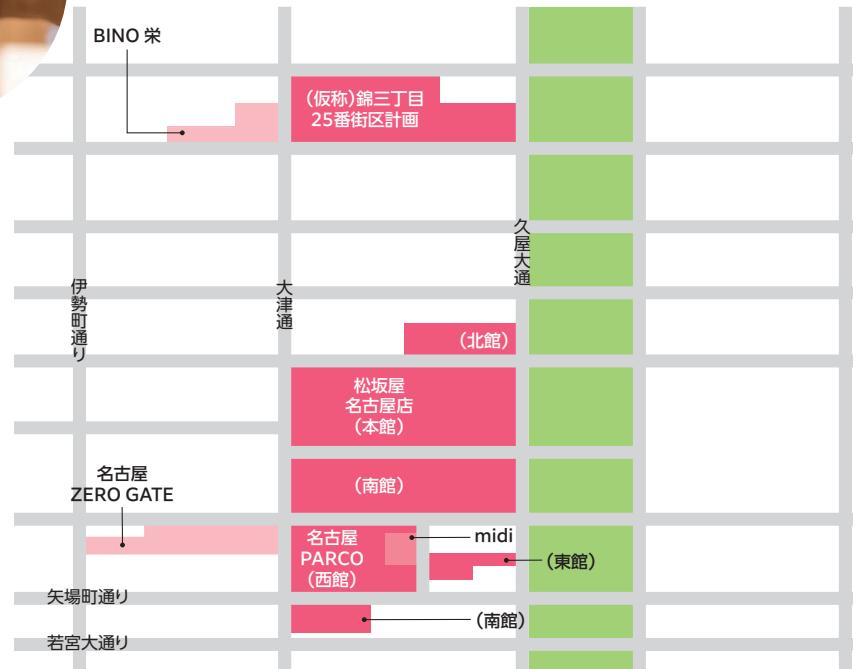
オンライン試着サービス

松坂屋名古屋店

松坂屋名古屋店は2022年7月に北館5階の時計・宝飾売場を14年ぶりに改装し、品揃え・サービス・環境の魅力化をはかりました。時計展開面積を約2倍に拡大した新たな売場には、各ブランドの世界観に没入しやすいブースや、エンタテインメント要素のある修理工房などが設けられ、ラグジュアリーかつ開放的なフロア環境が整えられました。またデジタルの取り組みでは、「GENTA the Watch」ホームページから1,000種類以上の時計がスマートフォンでオンライン試着できるサービスツールを導入しています。



北館 (GENTA) 5階「GENTA the Watch」



(仮称) 錦三丁目25番街区計画



1階エントランス (イメージ)

パルコを含む5社共同で推進する「(仮称) 錦三丁目25番街区計画」では、2022年6月に起工式を執り行い、7月に着工しました。本計画は「名古屋の新たなランドマークとなる国内外の文化・交流価値創造拠点」をコンセプトに、栄エリアの都市機能強化を目指しています。本物件には、ホテル、オフィス、シネコン、商業施設の4用途を集積し、地下2階～地上4階に高級感のある商業施設を展開します。本計画の竣工は2026年3月、施設の開業は同年夏頃の予定です。

名古屋PARCO

名古屋PARCOは、西館・東館・南館の3館において、全体の約1/3にあたる4,000坪の大規模改装を、2022年5月までに実施しました。西館は、ファッション・カルチャー・ビューティーを中心とした上質な商品と空間にグレードアップ。東館は、エンタテインメント特化型ビルへと進化させ、イベントやライブステージなど新たな賑わいゾーンを新設しました。そして南館は、アパレル大手のベイクルーズが手掛けるグルーピングストアを4フロアで展開しています。多業種ミックスによる新たな価値提供、情報発信力を高めていきます。



西館1階「MEDICOM TOY PLUS NAGOYA」



東館5階「矢場動物堂」



「(仮称)心斎橋プロジェクト」

デベロッパー戦略を着実に推進

事業ポートフォリオ変革の鍵を握るデベロッパー事業は、大阪・心斎橋にエリア最大級の複合施設を開発する「(仮称)心斎橋プロジェクト」の計画概要を発表しました。また、名古屋、大阪に続き、福岡・天神エリアでの開発プロジェクトの検討を進めています。

AnotherADdress 「第1回日本DX大賞」優秀賞を受賞

2021年3月から新規参入したファッションサブスクリプション事業「AnotherADdress」は、2022年6月、自治体や民間企業のDX推進プロジェクトを表彰するコンテスト「第1回日本DX大賞～大規模法人部門～」で優秀賞を受賞。「物売りの百貨店が新規事業としてサブスク事業を立ち上げた」 「SDGsを意識しながら事業を展開している」 点が高く評価されました。



アートツアー 「D-art, ART 2022」を開催

日本においても成長が期待されるアート市場に対し、大丸松坂屋百貨店は一般社団法人アート東京代表理事来住尚彦氏がプロデュースするアートフェア形式のツアー「D-art, ART」を開催。本催事は実物の作品・デジタル作品を並列して展示販売するなど、新しい試みを取り入れながら、全国の大丸・松坂屋5店舗で2022年6月から翌年にかけて実施しています。



決済・金融事業「GINZA SIX[※]」との連携を強化

決済・金融事業を推進するJFRカードでは、大丸松坂屋カードの会員様への特典を充実させています。2022年秋よりGINZA SIXにおいて、大丸松坂屋カードを利用すると通常より2倍のQIRA [キラ]ポイント^{*}を付与する取り組みを実施する予定です。今後も各事業・店舗との連携強化、QIRAポイントの認知・価値向上による顧客基盤の拡大に取り組みます。

^{*}大丸松坂屋カードのクレジット利用でポイントが貯まるポイントプログラム



サステナビリティピックアップ

Well-Being Life (心身ともに豊かなくらし)の実現に向けて

「2030年当社グループのありたい姿」プロジェクトを推進

当社グループは、2030年に目指す企業像の実現に向けて組織風土を変革していくため、グループの若手従業員を中心とした社長直轄プロジェクトを2021年11月に発足しました。2022年度は、起業家や生活者へのインタビューにより収集した社会や価値観の変化に基づき、個々人の内発的動機から意識変革・行動変容につながる企画を自ら立案。これらを、2023年度から実行していきます。



「優秀外国映画輸入配給賞」最優秀賞を受賞

パルコは、一般社団法人外国映画輸入配給協会「第60回優秀外国映画輸入配給賞」の最優秀賞を受賞しました。今回の受賞では、「様々なジャンルの作品で知的好奇心を刺激し、内容の濃さで見せるものを魅了する一方、幅広い年代層の共感を呼ぶ人間味溢れる映画もある、という公開作品の見事な充実ぶり」が高く評価されました。



JFRクリエ「障害者雇用に関する 優良な中小企業主(もにす)」に認定

JFR クリエが、2022年5月、厚生労働省から「障害者雇用に関する優良な中小企業主(もにす)」に認定されました。この認定においては、職域の拡大や安心して取り組める職務環境の整備、メンバーの成長への取り組みなどが評価されました。

当社グループのサステナビリティの取り組みを動画でご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/embed/Oce5r86lGrs?rel=0>



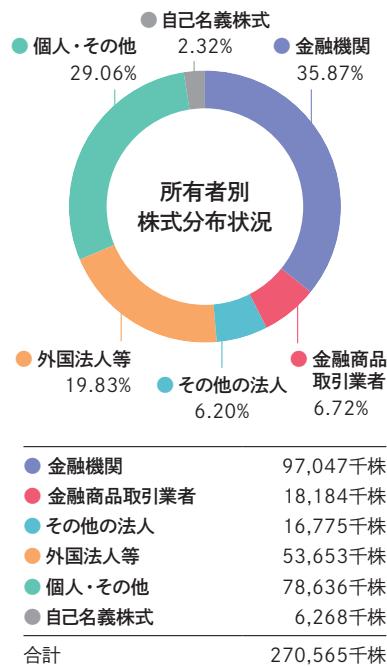
株式情報

株式の状況 (2022年8月31日現在)

発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式の総数	270,565,764株
株主数	156,727名

大株主	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
1 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	46,493	17.59
2 株式会社日本カストディ銀行(信託口)	19,289	7.30
3 日本生命保険相互会社	9,828	3.72
4 J.フロントリテイリング共栄持株会	6,500	2.46
5 DAIWA CM SINGAPORE LTD-NOMINEE ROBERT LUKE COLLICK	4,734	1.79
6 第一生命保険株式会社	4,110	1.56
7 SMBC日興証券株式会社	3,871	1.46
8 BNYM AS AGT/CLTS NON TREATY JASDEC	3,777	1.43
9 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	3,532	1.34
10 株式会社SMBC信託銀行(株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	3,204	1.21

(注) 当社は自己株式6,268千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
また、持株比率は当該自己株式を控除して計算しており、当該自己株式には役員報酬引当金信託が所有する株式は含まれておりません。



株主メモ

剰余金の配当の基準日	期末2月末日 中間8月31日	株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会の基準日	2月末日	口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会 公告方法	5月中に開催 電子公告をもって行います。ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (登記アドレス https://www.j-front-retailing.com/)	同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 電話：(0120) 232-711 (通話料無料) 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いきませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

お知らせ 会社法の改正により、2023年3月以降に開催する株主総会から、当社を含む全ての上場企業において株主総会資料の電子提供制度が義務化されました。株主総会資料の電子提供制度とは、株主総会資料を掲載したウェブサイトのURL等を株主様にお知らせし、原則、当該ウェブサイトで株主総会資料を閲覧いただく制度です。詳細につきましては、三菱UFJ信託銀行のウェブサイト(右のQRコードからアクセスできます)をご覧ください。



会社情報 (2022年10月1日現在)

会社概要

商号	J. フロント リテイリング株式会社	設立	2007年9月3日
(英文表示)	J.FRONT RETAILING Co.,Ltd.	資本金	31,974,406,200円
事業内容	百貨店業等の事業を行う子会社及びグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務	決算期	2月末日
本店所在地	東京都中央区銀座六丁目10番1号	従業員数(連結)	6,361名(2022年8月31日現在)

※2022年8月に本社事務所を品川に移転いたしました。

役員

取締役	指名委員会	監査委員会	報酬委員会	執行役
山本 良一	取締役会議長	○	○	好本 達也 代表執行役社長 ※
浜田 和子		○		若林 勇人 執行役常務 ※ 財務戦略統括部長 兼 株式会社バルコ 取締役
矢後 夏之助	独立社外取締役	◎	○	小野 圭一 執行役常務 経営戦略統括部長 兼 リスク管理担当 兼 株式会社バルコ 取締役
箱田 順哉	独立社外取締役		◎	林 直孝 執行役常務 グループデジタル統括部長
内田 章	独立社外取締役	○	◎	中山 高史 執行役常務 グループシステム統括部長 兼 株式会社大丸松坂屋百貨店 取締役
佐藤 リエ子	独立社外取締役		○	松田 弘一 執行役常務 人財戦略統括部長 兼 業務統括部長 兼 コンプライアンス担当 兼 株式会社大丸松坂屋百貨店 取締役
関 忠行	独立社外取締役		○	川瀬 賢二 執行役 経営戦略統括部経営企画部長 兼 事業ポートフォリオ変革推進部長 兼 グループ広報推進部長
小出 寛子	独立社外取締役	○	○	平井 裕二 執行役 経営戦略統括部CRE企画部長 兼 株式会社バルコ 執行役員
好本 達也	代表執行役社長			山崎 史朗 執行役 グループシステム統括部システム企画部長
若林 勇人	執行役常務			野口 秀樹 執行役 財務戦略統括部主計・税務部長
				梅林 憲 執行役 人財戦略統括部グループ人財政策部長 兼 グループ人財開発部長 兼 グループ福利厚生部長

◎は委員長

※は取締役を兼務